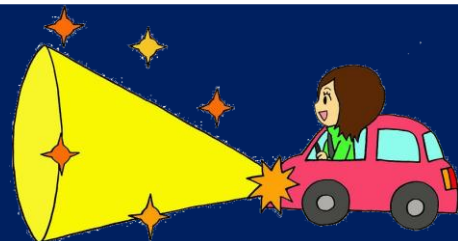
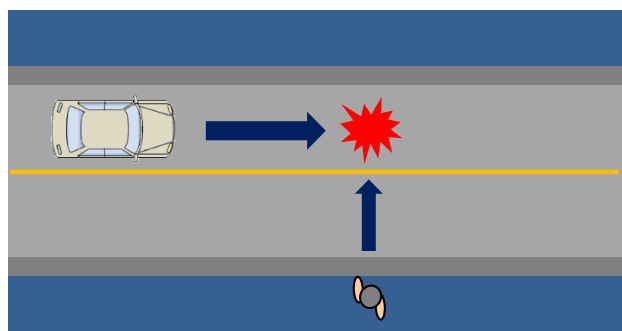
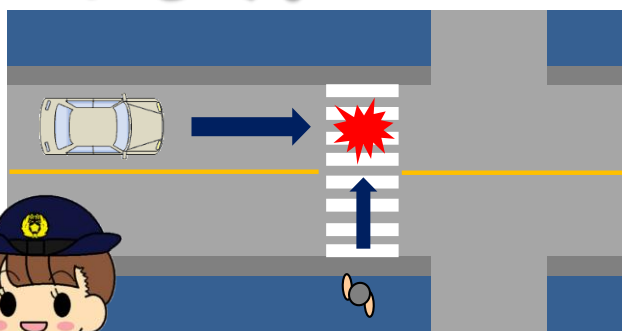


ハイビーム



反射材の活用を！！

夜間、信号機のない交差点や単路で直進する車両と、運転手から見て右から横断する歩行者との死亡事故が多く発生しています。



〈 歩行者横断中事故のイメージ図 〉



● 運転手の方へ

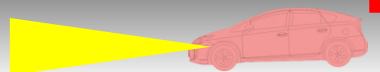
- 夜間はハイビームを積極的に活用し、視認性を確保して安全運転に努めてください。特に、道路右側の暗がりには注意が必要です。
- また、歩行者の方や自転車の方を幻惑させないように、必要に応じてこまめにロービームに切り替えるなど思いやり運転に努めましょう。

● 歩行者の方へ

- 夜間、外出される際は、明るい服装に心掛けるとともに、反射材の活用を習慣づけましょう。
- 道路を横断する際、右、左、右と確認している間にも車両は接近してきますので、十分確認してから横断してください。左から進行してくる車両には要注意です。



ロービーム 約40m



照射距離約2倍

ハイビーム 約100m

